

中規模木造建築に、ソーラー・チムニーを検討中。

ソーラー・チムニーのイメージ

【文・小池一三】堀部安嗣さんに「ソーラー・チムニーについて検討しています」とお伝えしたら、「どういう原理でしょうか？ 興味あります。」とのメールが返ってきました。小池から、次の返信をお送りしました。「まだソーラー・チムニーは、こんなこと考えられないかな、という段階のもので。イメージ的には、建物の規模の割にヴォリュームのあるペーハ小屋の越屋根、ペルシャのバードギール、ガウディのカサ・ミラというところでしょうか。住宅では異形の様相が強いわけですが、非住宅できれいなものが生まれたり、茅葺の兜造りや合掌造りの異形があることを考えると、郊外の、田園の、林の中なら、住宅でも使えるかもしれません。ソーラー・チムニーそのものは、技術的には、世界にあまり例があり、日本でもそういうことを追っている人がいますので、協同して生みたい。」と申し上げました。

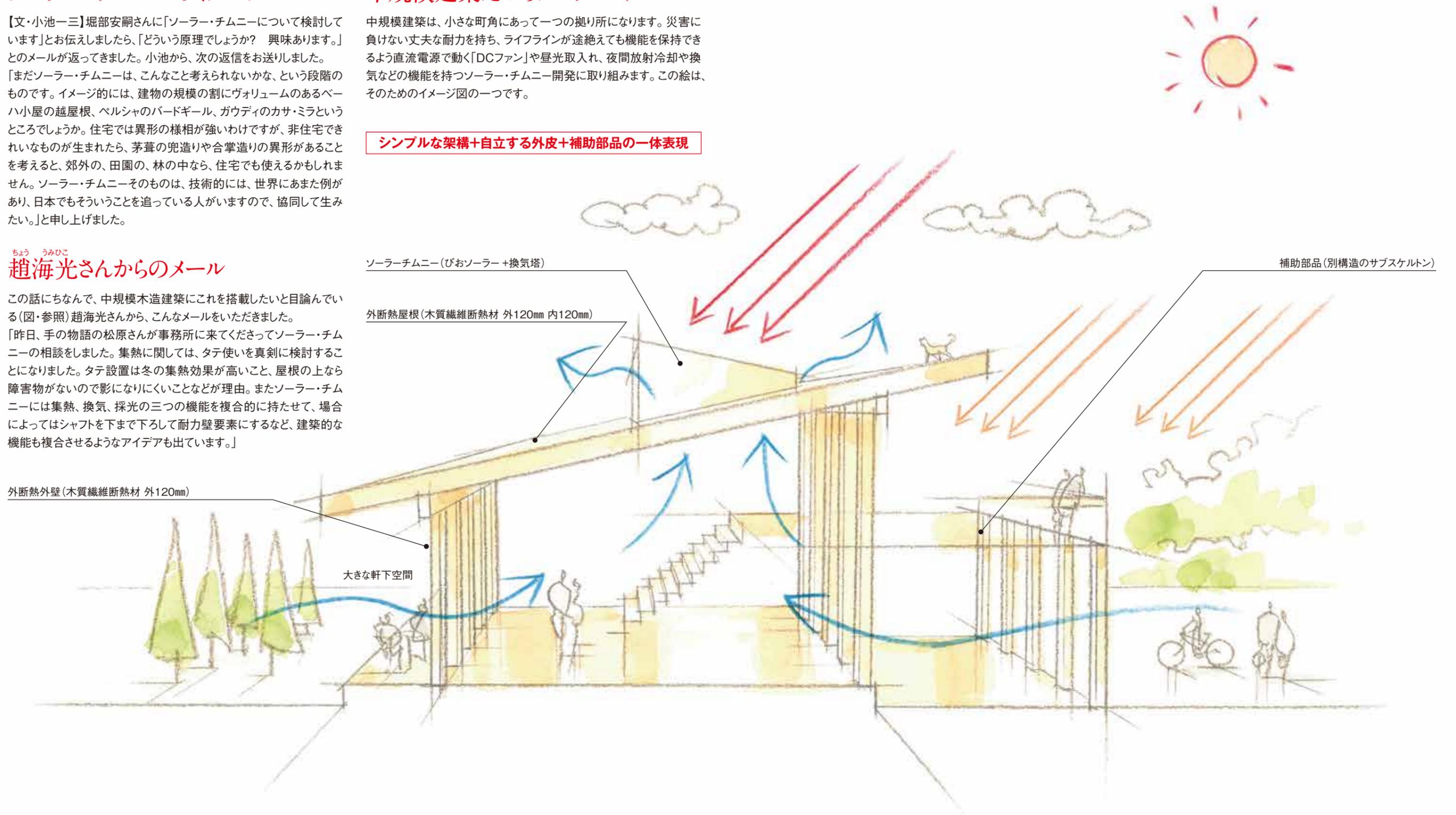
趙海光さんからのメール

この話にちなんで、中規模木造建築にこれを搭載したいと目論んでいる(図・参照)趙海光さんから、こんなメールをいただきました。「昨日、手の物語の松原さんが事務所に来てくださってソーラー・チムニーの相談をしました。集熱に関しては、タテ使いを真剣に検討することになりました。タテ設置は冬の集熱効果が高いこと、屋根の上なら障害物がないので影になりにくいことなどが理由。またソーラー・チムニーには集熱、換気、採光の三つの機能を複合的に持たせて、場合によってはシャフトを下まで下ろして耐力壁要素にするなど、建築的な機能も複合させるようなアイデアも出ています。」

中規模建築だからソーラー・チムニー

中規模建築は、小さな町角にあって一つの拠り所になります。災害に負けない丈夫な耐力を持ち、ライフラインが途絶えても機能を保持できるよう直流電源で動く「DCファン」や昼光取入れ、夜間放射冷却や換気などの機能を持つソーラー・チムニー開発に取り組みます。この絵は、そのためのイメージ図の一つです。

シンプルな架構+自立する外皮+補助部品の一体表現



「天気の子」に負けない、「天気の家」をつくろう。

国連の気候行動サミットは、2050年に実質排出ゼロにすることを77カ国が誓った。スウェーデンの16歳の「天気の子」の訴えに、建築はいかに応えられるか？

2100年の気温予測値

産業革命期の1880年～2019年までの間に、温度が1.2℃上昇していることはよく知られたことですが、今のままCO2が排出され続けると、80年後の2100年に5.8℃に上昇するとの予測が、フランスの国立科学研究センターによって発表されました。

近年、異常気象の原因の一つとされる海水温の上昇によって、大きな台風が多発していますが、今より4.6℃上昇した場合に、どんな台風が日本を襲うのか想像を絶するものがあります。

グレタ・トゥーンベリさんの訴え

スウェーデンの16歳の少女の訴えは直截的で、妥協の余地がないほど激しいものでしたが、「怒るグレタ世代」と見出しがつけられているように、未来世代にとっては、なんでここまで放置したのか、と文句を言いたくなるのは分かります。

しかし、主要排出国(中国・アメリカ・インド・ロシア・日本)の反応は鈍く、排出国5位の日本も新提案があるわけがなく、火力発電所が新設される動きに批判が寄せられています。

「自然室温で暮らせる家」へ

私たちは東日本大震災が起こった後、「自然室温で暮らせる家」を提案しました。電力依存・機械設備に頼らなくても、まずは住まい自身の働きによって暮らせる家を生むこと。

都市部の熱帯夜は、エアコンを必要とするでしょうが、いい風が期待できる日には窓を開けて涼風を取り入れ、一年を通じて、可能な限り、自然のままに暮らせる日数を増やすこと、そんなあり方、それが「自然室温で暮らせる家」です。

毎日新聞

第51682号 〔明治5年創刊〕明治25年

「おとぎ話」はやめて

23日に米ニューヨークで行われた国連気候行動サミット。深刻さを増す気候変動対策の機運を高めるため、若者世代の代表として招かれたスウェーデンの環境活動家、グレタ・トゥーンベリさん(16)は、ホールを埋めた各国の首脳や閣僚に厳しい言葉を浴びせ続けた。「あなたたちは空虚な言葉で、私の夢を、私の子供時代を奪った」

グレタさんは、気候変動を加速させた大人たちとの世代間の不正をただすための「学校ストライキ」を昨年の夏から続けている。訪米には温室効果ガスを出さないヨットで2週間かけて大西洋を横断。その行動は同世代の若者たちの共感を集め、今月20日の抗議行動には世界で400万人以上が参加した。



「人々は困窮し、死にひんし、生態系は壊れる。私たちは絶滅を前にしている。なのに、あなたがたはお金と、永続的経済成長という『おとぎ話』を語っている。よくもそんなことが！」。目に涙を浮かべ、怒りで小さな体を震わせる少女の叫びに、国連本部の総会ホールは静まりかえった。「ニューヨーク八田浩輔、隔俊之」



サミットに参加したグレタさん(ニューヨークの国連本部で23日、ロイター)

怒るグレタ世代

「気候変動と地球温暖化は人間によって引き起こされていることは疑いようがない」と述べ、国際社会の取り組みを加速させる意思を示した。

サミットが閉幕した直後、その頃、国連本部から約2キロ離れたタイムズスクエアの高級ホテルで、「気候変動、激しい論争」と題するシンポジウムが開かれた。企画したのは、石油メジャーなどから寄付を受けているとされるシンクタンク「ハートランド研究所(米イリノイ州)だ。

「国連は政治的な集まりだ」「そもそも二酸化炭素は最も重視すべき温室効果ガスではない」。演壇に上がった3人の懐疑派の論者は、真っ向から気候行動サミットの存在意義を否定してみせた。グレタさんにも話題は及び、論者の一人は「彼女にアドバイスできるとすれば(家に)帰ってもっと注意深く勉強すべきだ」ということだ」と切り捨てた。参加者は約40人。狙いは、温室効果ガスを生み出す人間の産業活動が気候変動に影響を与えているという科学的な定説に異議を唱え、「論争があるように見せかけられた」



デジタルプラス

動画

3面につづく
(2、8面に関連記事)

参加申し込み書

参加費 … A・B・C各7,000円/人(税込・昼食各自)

◆Webでのお申込み

<http://tenomonogatari.jp/eventform>



手の物語



お申込みQRコード→

◆FAXでのお申込み

2019年 月 日

御社名		
申込人数	人	
TEL		
FAX		
住所	〒	
参加者名	参加代表者 ふりがな 男・女	
	携帯電話番号 (当日ご連絡先)	
	参加ご希望項目の□にレ点をお願いいたします。(すべて、先着順となります)	
	<input type="checkbox"/> A 中規模木造がおもしろい <input type="checkbox"/> B 人と自然をつなぐ建築の未来形 <input type="checkbox"/> C 泉幸甫と田瀬理夫の緑の計画学	
ふりがな 男・女		
参加者名	参加ご希望項目の□にレ点をお願いいたします。(すべて、先着順となります)	
	<input type="checkbox"/> A 中規模木造がおもしろい <input type="checkbox"/> B 人と自然をつなぐ建築の未来形 <input type="checkbox"/> C 泉幸甫と田瀬理夫の緑の計画学	
	ふりがな 男・女	
	参加ご希望項目の□にレ点をお願いいたします。(すべて、先着順となります)	
ふりがな 男・女		
参加者名	参加ご希望項目の□にレ点をお願いいたします。(すべて、先着順となります)	
	<input type="checkbox"/> A 中規模木造がおもしろい <input type="checkbox"/> B 人と自然をつなぐ建築の未来形 <input type="checkbox"/> C 泉幸甫と田瀬理夫の緑の計画学	
	ふりがな 男・女	
	参加ご希望項目の□にレ点をお願いいたします。(すべて、先着順となります)	
ふりがな 男・女		
代表者メールアドレス		

※お申込書FAX到着後、折り返しメールにて、ご案内等ご送付させていただきます。メールアドレスを必ずご記入ください。

FAXでのお申し込みは FAX ⇒ 053-570-9017

お問合せ
セミナー事務局/手の物語有限公司 静岡県浜松市中区南浅田2丁目2-1 tel.053-570-9012